

● **基本理念「人づくり、土づくり、我らが町の明日づくり」**

※①“農業・農村の明日を担う人づくり”、②“地場産業の根幹である農業にとって重要な土づくり”、③“それらが一体となった地域づくり”を経営の主軸に据え、それらが元気になる仕組みを模索している（農業を通じて地域貢献を目指す）。

● **指導方針「共に学び育つ(共育)」**

※家族経営からスタートする中で、従業員も家族同様に大事にする意識を持ち、経営者、従業員等と一緒に、「農業」について学び、一緒に育って行く事を主軸に据えている。

経営の概要

- 【所在地】** 熊本県熊本市北区植木町亀甲814
- 【事業内容】** ①農産物の生産、販売。(スイカ、ナス、水稻)
②地域農業の担い手となる人材育成、指導。
③高校生・大学生等農業体験研修の受入。
- 【経営面積】** ①スイカ(150a)
②大長ナス(20a)、筑陽ナス(50a)
③水稻(40a)
- 【従業員数】** 正社員2名、パート1名
- 【実績等】** ①農の雇用事業研修生2名、定着率100%。
※H25-3募集採択、H29-4募集採択
②次世代農業人材投資資金準備型受入機関(JA鹿本)を通じて受け入れた研修生1名が独立。
③担い手育成等の社会貢献活動が評価され、平成30年度熊本県農業コンクール大会地域農力部門優良賞受賞。

人材の定着に向けた取組内容

【取組を行うことになった背景】

- 認定農業者組織役員や指導農業士として活動する中で、地域農業の担い手の高齢化や減少、それに伴う農地荒廃が顕著となっている。
- 全国一の生産を誇る熊本県熊本市北区植木町の主力品目であるスイカについても生産力低下が見られ、安定した農業生産を維持して行く上で危機感を感じている。
- この様な中で、我々と一緒に地域農業の維持・発展に貢献する担い手の確保・育成・定着が急務となっている。

【取組内容】

- 前述の基本理念や指導方針を研修生と共有し、仕事に対する目標を持たせている。
- また、農業未経験で就職して来る者が多い中で、農業生産活動にとって重要な技術や知識を教える事は勿論、公役等の地域的な共同活動や農家同士の結い活動(仕事の助け合い等)、JA等の農業関係会合にも積極的に参加させる事で、農業の仕事をして行く事の意味や農村集落で生きて行く事の意味を伝えている。
- 作業能力や技術習得状況に応じた適正な業務配分や品目に応じた栽培責任者としてポジションを与える事で、就業に対するモチベーションを維持させている。

【取組の成果】

- 「農の雇用事業」平成25年度第3回募集で採択を受けた研修生西村典晃氏(非農家、農業未経験で平成24年10月就職)は、研修終了から7年が経過する中で、農場長として仕事を任せる事が出来る人材に育った。また、地域の農家の方等にも顔が知られ、信頼を得ている。
- また、新たに採用した従業員角田悠馬氏(非農家、農業未経験で平成29年10月就職)が「農の雇用事業」平成29年度第4回募集で採択を受ける中で、その研修生を西村農場長が指導している。
- 人が育つ事で、仕事を任せる事が出来る様になり、菊川農園の生産性が向上し、規模拡大が可能となった。それに伴い、最初の研修生西村氏が就職して7年が経過する中で、売上1.5倍増を達成した。
- その結果、当初からの目標であった後世に経営を引き継ぐための法人化の基盤を「くまもと農業経営相談所」の支援を受けて平成31年1月に達成した。

【従業員の評価】

- 研修終了から3年4ヶ月が経過する西村氏は、現在、農場長として仕事を任される中で、作付計画や作業段取り、圃場準備、研修生角田氏の指導等の仕事を担当する中で責任感やモチベーションが高まっている。今後は、日々の業務を通じての気づきや改善点等を代表者に提案できる人材として成長する事を目指している。
- 研修開始から1年半が経過する角田氏は、指導者である西村農場長の後ろ姿を見ながら技術習得等に励む中で、今後は、西村農場長の様な圃場管理者(ナス希望)兼指導的立場として成長する事を目指している。

【今後の目標】

- 地域の明日を担う若い従業員が将来に渡り安心して働ける職場環境・労務管理の整備を行っていきたい。

